交通･防犯関係部課長会議会議録

１　日　時　　平成２９年５月１０日（水）午後１時３０分

２　会　場　　愛知県自治センター４階　大会議室

３　当番市　　安城市

４　出席者

①県	地域安全課　課長　落合　斉
②警察本部	生活安全部生活安全総務課地域安全対策室　室長　内田 昌樹
	交通部交通総務課　課長補佐　高木　宏
③市	名古屋市地域安全推進課　課長　阿部 将志　始め４２名
④市長会事務局	次長　長谷川　好喜　始め４名

５　内　容

①開　　会　市長会事務局　次長　長谷川 好喜

②あいさつ　愛知県地域安全課　課長　落合　斉

③議長選出　安城市市民生活部市民安全課　課長　大見 雅康

④議　　題

（１）地域における防犯活動の活性化について（名古屋市提出）

【要旨】

名古屋市では、地域の防犯意識を高め、地域の実情に合わせてパトロールをするなど、防犯活動を積極的に行うため、平成２６年度から「防犯リーダー養成講座」を実施している。

２６年度６６人、２７年度３３人、２８年度２７人、３年間で合計１２６人が受講している。対象者は市内在住又は在勤・在学で、今後市内で防犯活動をしている方、して行きたいという方。問題点は年々人数が若干減っていくこと、講座を修了された方の地域での活躍に結びついていないこと。

各市で取り組まれている状況・御方策をお尋ねしたい。

●岡崎市

回答を修正したい。「特になし」と回答したが、広く防犯活動は行っており、地域と合同もしており、他市と同じように活動がある。

●名古屋市
　知立市さんにお尋ねしたい。活動回数により奨励金を支払う制度について詳細を教えてください。
●知立市
　各自主防災会が１年の活動を取りまとめ、それに対し奨励金を支払っている。
●名古屋市
　奨励金の使途は何でも良いか？青パト活動中のガソリンとか。
●知立市
　詳細は別途お知らせします。
●名古屋市
　春日井市さんにお尋ねしたい。アカデミーの講師の方がどんな方か。卒業生によるボランティア団体の結成、企画、立案について、市はどういった支援をされているのか。
●春日井市
　平成７年から市民大学をやっており、防犯（生活安全）コースが６講座、防災講座が６講座、２４名の先生を揃えている。
　これらの基礎教養課程を受け、次年度以降専門課程６コースを受けて、卒業した方にボニター養成講座を７講座受け、ボニターになっていただいている。ボニターはボランティアとモニターを合わせた春日井市独自の造語。市民に還元していくのがモットー。４月１日現在で４０９名の方が加盟している。ほとんどの方がリタイヤされた高齢者の方。
　得られた教養によって、手弁当で市内の小中学校全校に出張講座を実施したり、防犯診断をしたり、市の防災訓練に参加したりしている。
　講座受講後の受け皿があることについて、講師から評価をいただいている。
●名古屋市
　春日井市の予算は？
●春日井市
　安全なまちづくり協議会として全体で約５００万円、そのうちアカデミーの謝金が約３００万円。
●愛知県
　４つの事業を行っている。
　・５人以上の新規団体の方への資材提供（５万円程度）。
　・県防犯リーダー研修。昨年度は１２回開催で約８００人参加。講師はＮＨＫの黒川先生など。今年度は８回実施予定
　・地域の実情に即した計画し実践してもらう委託事業。今年度は１５地区を予定。
　・特殊詐欺の防止セミナー、今回初の取り組み。今年度は２回開催予定。講師は有識者をお招きする予定。

（２）多発する特殊詐欺犯罪への対策について（半田市提出）
【要旨】
　昨年、半田署管内（半田市を含む１市５町）で１億７０００万円、そのうち半田市で約１億３０００万円の特殊詐欺被害があった。
　資料のとおり半田市では６月議会の議会提案で条例制定を行うことになり、特殊詐欺の条例制定やるということになった。各市において今後どう対策をとっていかれるのか、ご教示いただきたい。

●名古屋市
　半田市さんにお尋ねしたい。防災無線の実施は１回のみとあるが、何か支障があったのであれば教えていただきたい。
●半田市
　１回だけやったが、以後は一切やっていない。何を言っているかわからないし苦情が多かった。
●西尾市
　防災行政無線、高齢者行方不明者捜索などがあり、苦情覚悟でやっている。昨年度は振り込め詐欺も多かったので、西尾警察署の生活安全課からの連続利用を依頼されたが、３日に１回程度に抑えさせてもらった。苦情は確かにある。
●名古屋市
　防災行政無線の利用は難しいと感じた。防災局と調整が取れていないのが名古屋市では今後の課題。
　豊田市さんでメールの配信があるが、主管課が防犯担当であるというところがあれば教えて欲しい。登録の方法についても教えて欲しい。
●豊田市
　メール配信システム「緊急メールとよた」をやっており、交通防犯課で運用している。登録手続きはホームページやチラシを見れば比較的簡単にできる。
●名古屋市
　教育委員会で不審者情報メールを活用されているところがあれば教えて欲しい。豊田市さん、岡崎市さん、犬山市さんみなさん防犯担当課で所管、みなさん防犯担当課がやられているということでよろしいか。
●犬山市ほか
　防犯担当課でやっている。
●安城市
　安城市では「安全安心情報メール」を市民安全課が所管しているが、配信権限を与え、学校の児童保護者にかかる不審者情報等は教育委員会の学校教育課が主体的に配信している。市民安全課と内容で棲み分けし、場合によって確認しあって、原則学校教育課で行っている。一般、高齢者の方の不審者情報は市民安全課。行方不明者捜索は高齢福祉課と言ったように、各課が配信権限を持ってやっている。受信者を分けることもできるが、全体に配信している。

●一宮市
　市の「安心防災ネット」をパトネット愛知とリンクさせている。不審者情報の配信はほとんど警察が配信。
　一宮市のとびらフォンの事業については、実績が少なく今年度は中止した。
●半田市
　豊田市で、高齢者世帯への訪問を１万世帯に対しやっているが、委託先はどこか。
　事業費はいくらか。
●豊田市
　委託先はシルバー人材センター。
　予算額は１０００万円、３年で市内を一巡できる見込み。
●警察本部
　他の犯罪に比べて、特殊詐欺の被害者は他の人に言いたがらないし、被害状況をビジュアル的に使えず啓発が難しいと考えている。地道いくしかない。
　警察庁の特殊詐欺アンケート結果からすると、注意喚起で役立つものはテレビや新聞報道。ケーブルテレビや市の広報で特殊詐欺に触れることも大事では無いか。
　「まるっと愛知プロジェクト」のメールで情報提供、訓練参加もある。
　昨年は、信金さんの還付金詐欺対策が効果を上げており、７０歳以上の方が過去３年間ＡＴＭ振込を利用していない方のキャッシュカードでの利用を制限すると言うもので被害を防いでいる。
　地銀３行も効果を上げている。
　防災行政無線が難しいと言う話があったが、いろんなチャンネルを使って、いろんな世代にいろんな方面から届くようにし、マスコミにも情報提供をしていきたい。
　またＣＳＲで企業とコラボし、いろんな場面で情報提供していきたい。

（３）歩行者保護モデルカー活動について（豊田市提出）
【要旨】
　愛知県では平成１５年から１４年連続で交通事故死全国ワースト１位という大変不名誉な厳しい状況が続いております。本年も暫定数ではありますが全国ワースト２位で予断を許さない状況。
　本市ではこの記録を返上しようと、昨年１１月からモデルカー活動を推進しております。しかしながら、本市だけの取り組みでは県内の交通事故の現状を変えられないということで、県内各市に取り組みの輪を広げて、一体となってより組むことで効果を上げていこうと考えている。
　活動目的は、交通事故死全国ワースト１位返上。
　活動内容は、賛同する事業者の車両にステッカーを貼っていただき、速度を厳守し、ハイビームを活用し、歩行者優先運転を実践して、その運転習慣を他のドライバーへも定着させて、車優先から歩行者優先へドライバーの意識と車の流れを変えて交通事故抑止を図って行こうと言うもの。

本市では昨年１１月から取り組み、「交通事故死全国ワースト１位 返上は豊田市から」をスローガンに豊田警察署、足助警察署、豊田商工会議所と連携し活動を展開している。

活動方法は、まず商工会議所に加盟する事業者に対して、この事業への参加を呼びかけ、理解が得られた事業者に対して両警察署と市長連名の委嘱状を交付し、事業者が配布されたステッカーと横断幕を貼付、設置している。現在の活動規模は、賛同事業者２８、車両は２００３台である。

この活動の機運を高めるため、4月１０日に豊田スタジアムで決起大会を行った。

この活動を効果的に推進していくために名古屋グランパスと豊田自動車に所属のフィギュアスケーターの小塚崇彦さんにサポーター委嘱を行い、啓発活動等に協力いただいている。

補完する目的で、横断幕やハイビーム啓発の看板を設置している。

県内各市に展開する前に、先行して西三河ブロック８市に依頼をしました。

本市と同じように刈谷市、安城市が警察と商工会議所主導で活動を推進していただいており、三好市さん知立市にも活動していただけることになっております。碧南市・高浜市さんでもチラシ等を活用した歩行者優先の啓発活動を実施している。

皆様の理解とご協力を得て活動を広げて行きたい。

●安城市

安城市では「思いやり運転」という別の名前の別の取り組みをしている。これでも豊田市の趣旨と同じと考えてよろしいか。

●豊田市

こだわっていません。歩行者優先の啓発の方向性が同じであればよい。

●警察本部

今年の方針の一つ、横断歩行者を守る活動と一致している。

昨年の愛知県交通事故死２１２人のうち4割の８２名が歩行者、歩行者のうち7割以上が高齢者、その８割が横断中。これを鑑み取締りを強化している。

豊田市さんが商工会議所と連携しているが、民間企業の巻き込みは一部のことだったので、裾野が広がっていく期待をしている。

交通安全に関するＣＳＲが今進んでいる。民間を巻き込んだ活動、連携をお願いしたい。連携依頼に腰が重い警察署があれば、私に言っていただければ指導して行く。

（4）多言語対応について（安城市提出）

【要旨】

交通防犯での多言語化対応の状況についてご教示いただきたい。

関東の水害、鬼怒川決壊の際、外国の方への避難指示が伝わらず他の方についていくことで避難ができたと言う事案があった際に検討市民協働サイドからも話があり、古いメールシステムの改修の際に対応できることが無いか検討してきたもので

す。

●岡崎市
　回答を修正したい。唯一多言語化対応しているのは防犯カメラ作動中の看板のみ。メール配信は防災主体のものであり、交通防犯に特化しておりません。２，３についても防災観点だった。
●安城市
　メールで緊急で多言語化対応しているのは西尾市のみ。
　ポルトガル語での配信とあるが、配信の仕組み、流れ、問題点などがあればお聞きしたい。
●西尾市
　きずなネットを子ども課が担当しており、ポルトガル語の通訳がいるので、重要なものについては配信している。
●豊橋市
　豊橋市では外国語対応を常時対応していないが、５月２２日に外国人に絡む死亡事故があり、市長からの指示があり、ポルトガル語に翻訳し、期間は短いが、ラジオＮＩＫＫＥＩやフェイスブックで情報をアップしたことがある。スポット的に対応している。
●安城市
　多言語化が大変なことがよくわかった。システム改修の際に検討する予定だったが、下方修正したいと思う。
交通防犯以外の部門と多言語を勧められるような状況があればご教示いただきたい。また、多言語化に対し前向きな話があればお願いしたい。

　特になし

●愛知県
　地域安全課のホームページで「日本の交通ルールを知っていますか？」を載せており、６ヶ国語で周知している。その貸出ビデオを扱っている。
　交通面だけなので、防犯面ではないので課題です
●警察本部
　防犯灯担当課ではやっていないが、犯人取調べの際の通訳が主な役割の「国際警察センター（昔は通訳センター)」のデスクがラジオＮＩＫＫＥＩに出演をしており、そのポルトガル資料を、ＰＤＦでメール配信したり、外国人学校などへ防犯講話に出向いたりしている。

（５）その他
●半田市

現職の警察官の派遣を受けている、又は警察ＯＢを雇用されている自治体さんは挙手をお願いします。

２８ですね。ありがとうございました。

●事務局

昨年度までの防犯関係部課長会議に交通を加え、今年度から交通防犯関係部課長会議を行った。歩行者保護モデルカー活動を推進していくため、情報提供、取り組み推進を目的としており、今年度は２回開催させていただきたく、１２月を目処に次の幹事市と相談して予定したい。

⑤次年度当番市の決定　　西尾市（市制施行順）

⑥閉　会　　愛知県市長会事務局　財政係長　浅田 正弘